

わたしたちの人権

114

だれもが人間として生きていくうえで侵すことのできない当然の権利これが「人権」です

山都町人権を考える 町民の集い

7月29日(火)、山都町矢部保健福祉センター「千寿苑」において人権を考える町民の集いが開催されました。

今回は、ゴールボール全日本女子主将でロンドンパラリンピック金メダリストの浦田理恵さんを講師にお迎えし、「自分らしく生き生きと生きる」と題し、人権講演会を行いました。



講師の浦田理恵さん

熊本県南関町生まれの浦田さんは、教師を目指し福

岡で学生生活を過ごされていましたが、その頃から視力が急速に低下し、「網膜色素変性症」と診断され、左目の視力はなくなり、右目も95%の視野が欠損し強いコントラストのものしか見えなくなりました。

講演では、視力が低下した当時の苦悩、挫折感等から引きこもりになったことや、そのことを乗り越えることができた家族の支え、施設での訓練で出会った講師や仲間とのふれあいによる心境の変化、ゴールボールとの出会い、そして金メダルを掴むための取り組み等について話されました。



会場の様子

世界に踏み込む勇気を持つことができたと話されました。また全日本チームでは「笑顔で元気に挨拶と返事をする。」「感謝の気持ちを持つ。それを言葉で伝える。」ことに取り組み実践していることや人と人のつながりの重要性も紹介されました。

参加者から寄せられた感想(抜粋)

- あきらめない。壁にぶつかつたら別の方法を考える。すごく勉強になりました。実践なので胸に響くことばかりでした。本当に良かったです。
- あきらめない心を持つ事の大切さを改めて考えさせられました。いろいろ悩みがありますが、その心を持って毎日を頑張っていきたいと思えます。
- 視力が低下し、それまでの環境が変わってしまった、今の状態に落ち着かれるまでには、いろいろな精神的な苦労も多かったと思います。またサポートしてくださった方々も、強い心をもたれているのだなと思いました。前に進みながら、これからも頑張っていたきたい。
- 実演をまじえての講演で、とても解りやすく時間があつたという間に経ってしまいました。「笑顔」「感謝」言葉が印象に残りました。できない事だけを考えるのではなく、できることを考える、あきらめない



- 「人は生きていくだけで誰かに迷惑をかける」という言葉が印象に残りました。誰かに頼ったり、頼られたりすることは当たり前で、気にすることなく支えあって生きていくものなのだなと思いました。そしてプラス思考に物事を考えることが大切だと思いました。
- とても明るく前向きに頑張られていて、自分も元気をもらえたと、頑張ろうと思えました。

書道

詩は無形画

和光教室書道部の田中邦子さん(入佐)作



山都町の四季を切り取った写真たちの展示です。

昨年1月から12月の期間中に撮影された237作品の中から入賞・入選しました27点の展示を行います。

カメラマンの息遣いが聞こえてきそうな写真をご覧ください。

出展者：全日本写真連盟熊本県本部・山都町

季節のうた

馬見原酔山会

炎天下球児の涙とめど無し
遠雷や父に諭されるごとき
いかづちに読経は続く一周忌

高田 眞司
畑野フミヨ
岩永 周子

通潤句会

梅雨に入る水口少し下げにけり
戦争に遠くくらしして麦の飯
大夕立去りて浄土の風のこす

菅 清次郎
西田えい子
菊池 幸子

清和短歌会

園児らの声に負けじと蟬時雨
夏の境内涼しく賑やか
手離せば想いも消える心地して
吾子の古着を又仕舞い込む
父母と並び取りし田の草よ
遙かなりしも鮮やかにして

渡邊 民生
原田由紀子
梶原 徹

山都町観光案内所 ギャラリー喫茶 ルポン

☎72-1054

～ 9月ギャラリーのご案内 ～
山都町写真コンテスト展
平成26年9月1日(月)
9月～30日(火)まで
水曜日定休日

9月の当番医

- 9月 7日 そよう病院 (電話 83-1122)
- 9月 14日 高田整形外科 (電話 72-1007)
- 9月 21日 坂本クリニック (電話 72-0210)
- 9月 28日 伴病院 (電話 72-0029)

山都町の人口

(平成26年7月31日現在)

男 8,061人 (-7)
女 8,631人 (-5)
計 16,692人 (-12)
世帯 6,704戸 (+1)

- ※ () は前月比
- ※最高齢は105歳〔女性2人〕
- ※平成26年7月の出生者数 8人 (今年の出生者数 41人)
- ※平成26年7月の死亡者数 20人 (今年の死亡者数 201人)

前号の訂正とお詫び

7月23日発行第113号の広報やまにおいて誤りがありました。関係各位には大変なご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正いたします。

- 21ページ すくすく育て 「佐野優太くん」「佐野莉音愛ちゃん」再掲しています。

編集後記

企画振興課は新庁舎建設による建物取り壊しのため、引っ越し作業を行っています。倉庫の中を片付けていると色々なものが出てきます。手書きの文書、使い方も分からないカメラ、有線放送時代に流していたと思われるレコード等々。引っ越しは大変ですが、今片付ければ、後で新庁舎へ入るときはその分の手間が省けると思いながら、課員一同、汗を流しています。

広報も、原稿づくりや編集を先送りせずすぐに作成していけば、後で苦労しなくて済むのですが…。「思い立ったが吉日」で、これからは色々な事に取り組んでいきたいと、引っ越しで出た大量のゴミを見つめながら考えています。②